

山陰合同銀行の「森を守ろう!」の取組み

- NPO法人やボランティア団体の皆さんと一緒に活動し、県民のみなさんへ森の大切さを知っていただく。
- ごうぎんの役職員自身が実際に森林で汗をながし、森づくりに賛同する企業の輪を地域に広げる。
- 地方銀行の機能を活かした取組みを川下(地方)から展開し、地方銀行の仲間とともに全国運動に広げる。

「ごうぎん希望の森」森林保全活動

活動の一つとして、山陰の4か所の森林(愛称:ごうぎん希望の森)において、役職員ボランティアの手による実践的な森林保全活動を行なっています。



①ごうぎん希望の森智頭

鳥取県智頭町駒帰(2.8ha)



③ごうぎん希望の森千本ダムの里

島根県松江市西忌部町(1.0ha)



②ごうぎん希望の森奥大山

鳥取県江府町助澤・俣野(26.1ha)



④ごうぎん希望の森石見銀山

島根県大田市大森町(15.12ha)



〈森林保全活動に参加して〉

私にとっては、何もかもが初めてのことがばかりでした。神事に携われたことで、神聖な気持ちで森に向かうこともできましたし、あの大自然の中では、苗木を植えただけのことでしかないのかもしれませんが、森林を守ることがいかに大変で大切なことが、少しは実感できたような気がします。自然サイクルの講話は、目からウロコ。命の循環の神秘に感動しました。「人間だけが生態系を自分たちに合うように変えて生きている」という事実。環境に自分を順応させていく力がある自然の生物に比べると、人間は決して進化した生物ではないように思えました。「森林を守る」という活動をしながら、「森林に守られている」と感じた一日でした。

ボランティア活動に対する考え方は人それぞれだと思いますが、私にとっては一生忘れられない経験になりました。木を植えたという記憶が、一人でも多くの人の中で、森を、山を、自然を大切に思う気持ちにつながっていけばよいですね。

行員ボランティア 池長 里美

「日本の森を守る地方銀行有志の会」全国の地方銀行64行全てが参加しています。

各地域での活動が日本全体に広がり「日本の森を守る」活動の一助となるよう会の発展を目指しています。



2009年12月4日「日本の森を守る京都サミット」

活動方針

「日本の森を守る京都サミット」共同宣言

- 1.「森林保全活動を中心としたネットワーク化」
- 2.「林業・木材産業再生等を中心とした地域の活性化」
- 3.「環境にやさしい金融商品づくり」
- 4.「次世代へ引き継ぐ緑化活動」

詳しくはホームページで



地方銀行有志の会 検索



もり 次世代につなぐ 豊かな森林づくり

みんなのチカラが集まれば夢もきっとかなう。



山陰合同銀行は「もり 森林を守ろう!山陰ネットワーク会議」の皆さんと一緒に、森林活動を行っています。

CSR(企業の社会的責任)への取組み「森林保全活動」

これまで当行は、本業である銀行業務を通じた地域経済への貢献はもとより、「ごうぎん一粒の麦の会」、「ごうぎん文化振興財団」、「小さな親切」運動山陰本部による社会福祉・教育・文化等への社会貢献を通じて、地域社会に対する責任を果たすよう努力してまいりました。当行は新たなCSRへの取組みとして、平成18年度から「森林保全活動」を開始し、長期的視野に立ち、地方銀行だからこそできる、郷土の自然を守る活動に取り組んでいます。





森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議の 特徴的な活動。

なぜ今 森林保全活動が必要なのでしょう?

山陰は、山と海そして湖といった豊かな自然に囲まれる、とても恵まれた環境にあります。そして県土の約3分の2を森林が占める全国有数の森林県です。この山陰にある、生態系の源である森林が様々な問題を抱え、荒廃が進み悲鳴をあげています。森林の荒廃と放置は地域の未来にとって、現在最も注目しなければならない問題と考えます。私たちは、県民の皆様に森林の現状を知っていただき、問題を解決するために、私たちにできることを、できる範囲で行動しています。

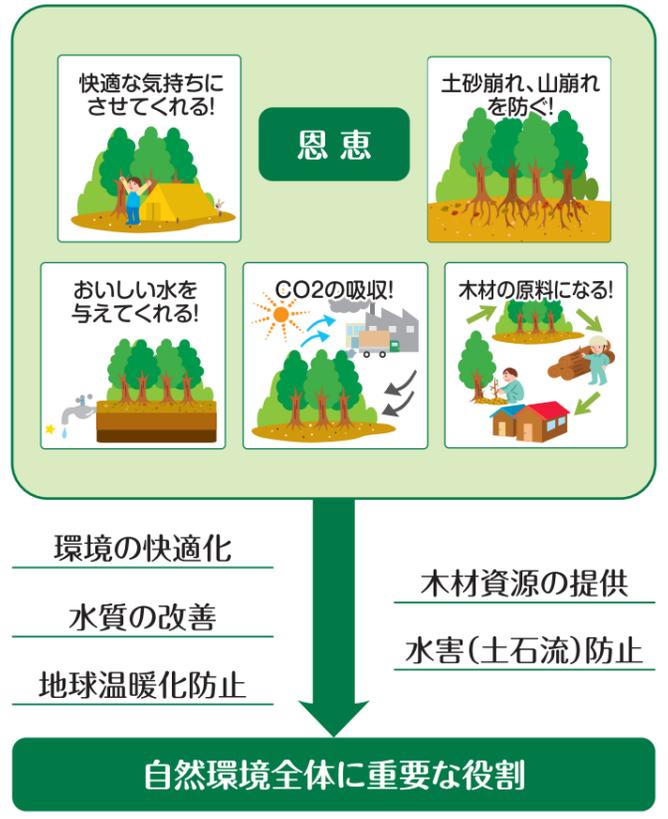
その輪をもっともっと広げ、それを大きなチカラとして、ふるさとの森を守っていきたくと考えています。失われつつあるふるさとへの「愛」と「この地で生きる誇り」に気づき、地域の活力や自立にもつながると強く信じています。地域のみなさまのご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

森林の恩恵と問題

森林の重要性

世界の森林面積はおよそ39億ヘクタールで、陸地面積の約3分の1を占めています。ただ農業開発や無秩序に行われる焼き畑、過放牧、薪炭林の過剰伐採などが原因で、毎年約1,260万ヘクタール(日本の国土の1/3)の森林が減少しているのが現状です。しかし木材などの生産だけが森林の役目でしょうか。森林はその他に、洪水・渇水の緩和、土砂くずれの防止、水の浄化、CO₂の削減、さらに森の自然は人の五感を通じて快適に感じさせる働きがあり、レクリエーション活動や教育の場として活用することが見直されています。

出典:林野庁「こども森林館」



山陰の森林を取り巻く環境

人が苗木を植えて育て上げた森林を「人工林」と呼びますが、植えた木の成長によって過密になった森林を適度に間引く、間伐という作業が必要です。森林は成長段階に合わせた適切な手入れによって、森林の持つ多面的な機能を発揮させることができます。しかし本来それを生業とする林業や森林を取り巻く環境が、輸入材の台頭、木材建築の減少、林業従事者の高齢化などで、危機的状況にあるのがご存知でしょうか。私たち一人ひとりがこの問題を受け止め、解決のために取り組んでいく必要があるのではないのでしょうか。



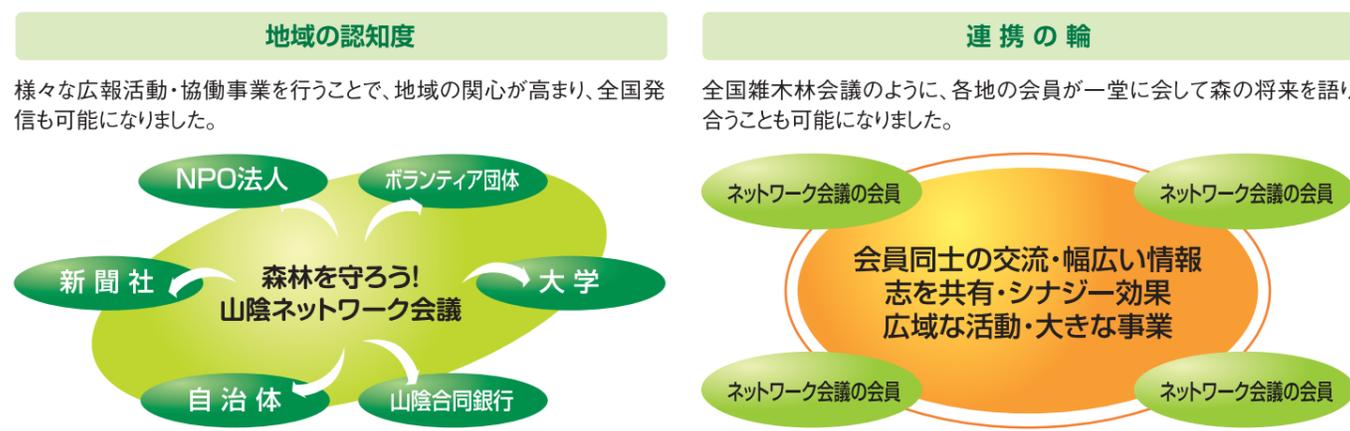
森林を守ろう!山陰ネットワーク会議



山陰両県の県土の7割以上を占める森林が、大変荒廃している現状や、森を守る大切さを広く県民の皆様に知っていただきたいという思いから、平成18年4月に設立しました。山陰両県のボランティア団体やNPO法人など、既に地道に熱心に活動に取り組んでいる団体をメンバーとし、事務局を山陰合同銀行が務め、各団体の活動紹介や各種イベントの開催などを通じて、広く情報交換を行ないながらお互いの活動に反映し、活動の輪を広げています。平成21年12月末現在、山陰(島根県、鳥取県)の43団体が加盟し「森林を守ろう!山陰ネットワーク会議」を形成しています。



ネットワークの設立後、地域の認知度が高まり、連携の輪が広がっています。



森林を守ろう!山陰ネットワーク会議参加団体のみなさん (平成21年12月31日現在)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 島根県 (21団体)
(松江市) NPO法人 里山バイオマスネットワーク
(松江市) NPO法人 もりふれ倶楽部
(松江市) NPO法人 八雲総合サービス協会
(松江市) 里山を育てる会
(松江市) 島根・木育ネットワーク
(松江市) 薪ストーブ同好会
(松江市) 松江ネイチャーゲームの会
(雲南市) 幡屋地区振興会
(斐川町) NPO法人 プレーパークてんとう虫
(出雲市) 出雲市林業振興協議会
(出雲市) 出雲西高等学校インターアクトクラブ | (出雲市) しまねフォレスト・ネットワーク出雲
(出雲市) 森の仲間
(大田市) 大田の自然を守る会
(大田市) 認定NPO法人 緑と水の連絡会議
(江津市) 江の川を考える会
(川本町) 理想の山里づくり実行委員会
(浜田市) 財団法人 島根県西部山村振興財団
(益田市) NPO法人 アンダンテ21
(益田市) 遊木民倶楽部
(吉賀町) NPO法人 エコヒレッジかきのきむら | 鳥取県 (22団体)
(鳥取市) NPO法人 賀露おやじの会
(鳥取市) NPO法人 とっとり希望計画21
(鳥取市) 広葉樹文化協会
(鳥取市) 山王さん周辺活性化協議会
(鳥取市) 鳥取市女性の森グループ
(鳥取市) 森っ子倶楽部
(鳥取市) リサイクルの仲間
(智頭町) おんな山師集団
(智頭町) 杉の雫・吟醸の会
(倉吉市) NPO法人 サカズキネット
(倉吉市) 讃郷愛林協会 | (倉吉市) NPO法人 養生の郷
(三朝町) 里山同好会
(三朝町) 三朝温泉かじか蛙保存研究会
(米子市) 大山横手道上ブナを育成する会
(米子市) 一般社団法人 鳥取県木造住宅推進協議会西部支部
(米子市) トドリネット
(米子市) まき割り倶楽部
(大山町) 日本熊森協会 鳥取県支部
(伯耆町) 丸山生産森林組合
(南部町) 財団法人 南部町地域振興会
(日野町) 日野川の源流と流域を守る会
(所在地別50音順) |
|--|--|--|--|